こんにちは。

やる気プロデューサーの上田洋輔です。 無料レポートのダウンロードありがとうございます!

今の仕事がたまらなく嫌になったことってありませんか?

そして、その気持ちがどんどん大きくなって 本当に嫌になったときに、 仕事を辞めてしまうのです。

私も、今までにたくさんそのような経験をしてきました。

もともと、仕事が嫌だった場合はともかく、 頑張って仕事をしていたのに、 急に嫌になり、仕事をやめたくなります。

人によっては、状況が変わるかとは思いますが、 辞めたくなるときは、 『どうも、自分が考えていたことと違う結果が出てしまっている』に 近い考えが頭をちらつき始めた時ではないでしょうか。

つまり、こんなことをしたいわけではないと思ったときです。

このように仕事に対して不安や疑問を持った状態になると、 どんなにプラス思考で考えても、 今の仕事を続けていくことが困難になり、 他の仕事に目移りしてしまいます。

そして、他の仕事の良いところがばかりが入ってくるので、 ますます今の仕事に不安や疑問を持つようになるのです。

さらに今の社会では、仕事がたくさんあるので、 他にいい仕事が、たくさんあるように感じてしまうことにより、 今の仕事がどうでもいい仕事に思えてくるのです。

特に、企業は若い人を働き手として欲しがっていますので 今の若者は、他の仕事に目移りしてしまう可能性が高くなってしまうのです。

今の仕事をやめてしまいたくなった場合の症状としては、 やる気が出ないとか、仕事中に上の空とか、 仕事を休むための理由を毎日考えているとか、 とにかく仕事をやりたくない症状がでます。

仕事を辞めたいと思ったときは、 だいたいがこのような「無気力」状態になってしまいます。

頑張ってプラスに考えても、 他の仕事をしたいとしか出てこないのです。

このままの状態でいくと、

当然、上司や先輩からも「やる気がない」とかの罵声を浴びせられて、 仕事を辞めることになるのですが、今までせっかく頑張ってきたのに 一時の気分に惑わされてしまい、 功績が台無しになってしまう可能性もあるわけですので 非常にもったいないですよね。

とはいっても、その時の辞めたい気持ちでいっぱいの時には、 自分の今の状況を客観的に判断は出来ませんので、 とにかく理由はどうであれ 辞めたい気持ちしか出てきません。

ここが非常に問題なのです。

この状態の時に多く見られる行動として、 求人誌を眺めてみたり、 会社の愚痴を言ったり、挨拶も適当になったり とにかく会社からしてみれば マイナスになる行動ばかりとってしまいがちです。

そして、締めくくりに出てくるのが、

自分に対して、「こんなマイナススタッフはこの会社には不要だろう」と マイナスの言葉を投げつけて、

それが本来の自分がマイナススタッフであるかのように錯覚し、 思い込んでしまうのです。

つまり、会社を辞めたくなった気持ちが原因で 自己概念まで下げてしまって、 自分をダメな人間にしてしまうマイナスのスパイラルに はまりこんでしまうのです。

仕事を辞めるだけなら、もったいないで済みますが、 自分の自己概念を下げる行動は、非常に危険な考えですので、 このマイナスのスパイラルから、早く抜け出した方が良いでしょう。

では、そのマイナスのスパイラルを抜ける方法を考えて見ましょう。

原因として、根底にあるのが、 『どうも、自分が考えていたことと違う結果が出てしまっている』 事が原因でしたよね。

この自分の考えていた事と違うというのは、 例えば、職場環境であったり、待遇の面であったり、 仕事の内容だったりするわけですが、 なぜ、全て会社が悪いと思ってしまったのか、 そこに問題が潜んでいるのではないかと思います。

つまり、自分では変える事ができない事に焦点を当てて、 変えてくれない会社を、ダメな会社だと思ったわけですよね。

私に相談に来る人の大半が、このような話題で 仕事を辞めるべきなのかどうかを相談しにこられます。

よく考えてくださいね。 あなたは、会社に入社した際に、会社に与えようとしていた事は いくつくらいあり、それをいくつくらい達成しましたか?

例えば、会社の売り上げを2倍にするとか、営業成績で部署1番になろうとか、 いろいろありましたよね?それはいくつくらい達成しましたか?

おそらく、ほとんど達成していないはずです。 この「自分が考えていた事と違う」となる人は、

大体、自分でやろうと思っていた事がうまく行かない場合に、 会社が悪いとなってしまう事が非常に多いのです。

基本的に、会社は、あなたに対して給料を払っている お客様ですので、態度は悪いのが当たり前です。

いいですか。ここを勘違いしないで下さいね。

会社はお客様なので、わがままを言っても許されますが、 あなたの親ではないので、あなたのわがままを聞く必要は無いのです。

その中でも、たくさんの「個人的なわがまま」を取り入れて、会社を変えてくれる 素晴らしい会社も中にはありますが、基本的にそれは会社のメリットになるはずであり、 決して当たり前の職場環境ではありません。

つまり、会社はあなたに依頼してくるお客様なのです。

ここを忘れなければ、あなたが、会社に入社した時に やるといった事をしない事は「契約違反じゃん!」となるので 評価がさがる事が当たり前だと思えるようになるのです。

その下がった評価の中では決して、 この会社の○○が悪いとは言えないですよね? 契約違反をしている自分が悪いと思うはずです。

結局のところ、会社に対して甘えているようだと、 決して会社は、あなたをプラスに評価することはないでしょう。

むしろ、あなたの甘えを無くしてあげようという 会社側の『善意』によって、 仕事内容がますます厳しくなるはずです。

そして、入社した時と比べて会社が変わったと感じるようになるわけです。 正直なところ、自分が変わってしまっただけなのです。

このことから、仕事がふと嫌になってしまったときに 考える内容が、今回の課題となります。

お客様は基本的にわがままなのです。そのわがままに対応する力を持つ事ができて、はじめて会社からお金をもらっているのです。

それを忘れないようにして下さい。

第1の課題

「会社をお客様だと思い、感謝をしてから仕事にとりかかる」

さて、会社をお客さまだと理解しても、 この仕事は嫌だと思うような場面ありますし、 どうしても人のせいにしたい人もいると思います。

それほどまでに今の仕事が嫌になってしまう場合も 人間ですので、ないわけではありません。

その場合は辞めるしか方法はないのでしょうか。

はじめにはっきりと言っておきますと、 あなたがその仕事で、No1をとっているのであれば、 会社を辞めることにも反対もしませんし何も言いません。

しかし、そうではないのに 他の良い仕事を探して辞めようと思っているのであれば、 あなたに合う仕事はないということです。

特別な理由があって辞めようと思ったわけではなく、 今の仕事が、ただ嫌だという理由で 仕事を辞めようとしているのであれば、 あなたに合う仕事なんて絶対にないのです。

どんな仕事であっても、きちんと続けられない人は、どんな仕事をしてもやめてしまいます。

仕事を辞めたくなる事で許される理由は もうこれ以上自分の成長が見込めない圧倒的なNo1になった時だけです。

そして、No1の状態でさらに上のステップに上がる為には 転職するしか方法がない場合のみ、仕事を辞めたくなる事は 当たり前のことかなと思います。

それ以外の理由で辞めようと思っているのであれば、 この先、ちょっとした困難が訪れたときは、また仕事を辞めてしまうでしょう。

逆に、今大変な困難を乗り越えて頑張っている人は、 この先もどんな困難があったとしても乗り越えていけるのです。

そして、その困難を乗り越え続けたところにNo1が待っているのです。

そもそも、どんな仕事でも、誰かに感動を与えることはできますし、 楽しいことを探そうと思えばいくらでもあります。 つまり成長が完全に見込めなくなった以外の理由では、 仕事を辞める理由なんてないのです。

あなたが仕事の中で、感動できること、楽しめる事を、 見つけることができていないだけなのです。

つまり、そんな感動や楽しみを、今の仕事で見つける事が出来ない人は、 どんな仕事をしても、感動を与えたり、楽しさ感じることはできないでしょう。

今、自分の手元にある仕事のどれかひとつでもいいので、 感動を与える仕事をしてみませんか?

超一流になる人は、おそらくどんな仕事をしていても、 超一流になることができると思います。

もしも、あなたが超一流と呼ばれるほどに、頑張っていて、 それでも、今の仕事が「自分に合わないのでは?」とか 「私が求めていたものとは違う」と思うのであれば、 転職を考えるのは仕方ないでしょう。

周りから非常に惜しまれて、引退することが可能でしょうし、 違う仕事で落ち着いて、また前の仕事に戻りたくなった場合は、 周りに人から歓迎されて、戻ることもできるでしょう。

しかし、社内ですら、たいした実績を上げることができずに、 ただ、自分に合う仕事ではないと思っているようでしたら、 別の仕事に移っても、今の成績と同じ程度の成績しか 上げることはできないでしょう。

あなたの気持ちを切り替えない限り、 一流はもちろんですが、 超一流になることなんて、できないのです。

仕事は遊びではありません。

遊びではないので、 つらいことや苦労することもたくさんあります。

それでも、そのつらいことを乗り越えて、 前に進んでいくことができる人にだけ 超一流という最高の称号を得ることができるのです。

つらいこと、大変なことを、 感動を与えることに変えて頑張ってみませんか?

あなたがつらいことを楽しくやっているだけで、 人に感動を与えることができるのです。

まずは、今の仕事で、最高の感動を与えられるようになりましょう。

その先には、どんな仕事をしても 最高の感動を与えられる仕事ができるようになるはずです。

第2の課題は、今の仕事で誰かを感動させる事を探してみてください。 大嫌いな上司であったとしても、 相手が体全体で、感動を表現してしまうほどの仕事をしてください。

そんなに誰かを感動させる仕事ができるなんて、考えただけで、 ワクワク楽しい気持ちが湧き上がってきますよね?

それだけ人を感動させる事は、喜びにもつながるのです。

あなたもまわりの人たちに感動与え、あなた自身が喜びを感じる為に 誰かに、しっかりと感動を与えられる事を考えて行動して下さい。

第2の課題

「どんな事をすれば、より感動を与えられるのか、書き出し実行する」

ここまで、お読みいただきありがとうございます。

このレポートは「やる気が出るブログ」で更新している内容をリメイクしたものです。 もしも、最新の記事を読みたい場合は、http://blog.livedoor.jp/yaruki consul/ヘアクセス下さい。

また、「やる気が出るブログ」では、書ききれない内容をメルマガ「いつでもやる気がいっぱい! (http://www.real-action.jp/maga.html)」にて発行しています。あわせてメルマガもご覧下さい。 きっとあなたのやる気がもっと出る内容になっています。

最後までお読みいただき、心より感謝いたします!

やる気プロデューサー 上田 洋輔

● ホームページ: http://www.real-action.jp/

• E-Mail: info@real-action.jp

Blog: http://blog.livedoor.jp/yaruki_consul/

● 週間メルマガ: http://www.real-action.jp/maga.html

● 日刊メルマガ:<u>http://www.mag2.com/m/0000275360.html</u>

● 携帯メルマガ:http://mini.mag2.com/pc/m/M0088253.html

メールまたはホームページ (http://www.real-action.jp/mail.html) にてお読みになられた感想をいただけると幸いです。

無断転載・複製・転売を禁ず